

日本共産党 姫路市会議員団

市会報告 2021年 第2回定例会

議員団控室 姫路市安田4-1 TEL 221-2046 FAX 284-5890

メール info@jcp-himeji.com



谷川
まゆみ

共産党姫路 検索

谷川まゆみ 検索

ブログ



森
ゆき子

森ゆき子 検索

ブログ



苦瓜
かずしげ

苦瓜かずしげ 検索

ブログ



村原
もりやす

村原もりやす 検索

ブログ



村原もりやす議員

コロナ禍から市民の命と健康を守ることを 最優先に

新型コロナウイルス感染拡大から約1年半経過しました。2回の緊急事態宣言、まん延防止等特別措置を経て、3回目の緊急事態宣言が出され、6月20日まで再延長されました。共産党市議団は、力を集中して市民の命と健康を守ることを最優先にと質問しました。



市長は危機管理の責任者としての行動を

村原議員: 清元市長は姫路市新型コロナウイルス感染症対策本部会議で、職員に対し、「市民の規範となり、しっかりと対応してください。常に市民の命と暮らしを守る立場にあるとの自覚と使命感を持ち、プライベートでも感染リスクを回避して、職員が一丸となり感染拡大防止に取り組むよう指示します。」としながら、まん延防止等特別措置が発出されていた4月11日に広島での飲酒を伴うパーティーに出席していました。この行動で、市民の信頼を失い、姫路市の信用も失墜させてしまいました。市民、職員の規範とならなければならないのは市長自身ではありませんか。その認識について答弁を求めます。

答弁: 軽率な行動であったことを深く反省している。市民の皆様にご不快な思いをさせたことに対して、心より謝罪する。

保健所の体制強化で市民に安心を

村原議員: 保健所の体制強化で市民に安心をと、昨年も増員を求めています。保健師9人の最終合格者が採用辞退したり、職員の中途退職で増員できていません。今すぐ体制強化を求めます。また、新型コロナ感染で入院調整中や自宅療養中の全ての人への対応が必要ではありませんか。

答弁: 本年10月1日に採用できるよう7月に採用試験を実施する。保健師3～5人の増員予定。在宅療養中の人へは基本的には電話による健康観察を行うが、35歳以上の人や妊婦及び基礎疾患を有する人に対しては、保健師による家庭訪問を行い入院の必要性などを判断する。

姫路獨協大学

公立大学法人化は市民の理解を得られるのか

村原議員: 姫路獨協大学は1987年に姫路市から敷地と資金50億円の提供を受け、公私協力方式として開学しましたが、15年ほど前から定員に達せず、昨年度の在籍学生は定員の7割程度となっており、5月14日に学校法人獨協学園から公立大学法人化の要望書が市長に提出されました。そして、本議会の議案第54号「姫路獨協大学在り方審議会条例」として提案されています。本市は、このことをいつ察知し、どう判断し検討されていくのか、また、今後大学施設設備の経年劣化が市の大きな財政負担になるのではありませんか。

答弁: 姫路獨協大学の厳しい経営状態は認識している。他都市の先行事例を踏まえ、運営形態の見直しの1つとして承知し認識している。開学後30年以上が経過し老朽化の進行も認識しており、現時点では将来発生する経費は不明だが、必要に応じて試算する。今後は、審議会でも議論していくこととしており、方向性は決まっておらず様々な観点から在り方を検討する。

ヤングケアラー^(※)の実態調査と支援を

村原議員: 姫路市のヤングケアラーの状況を知るために、全庁をあげて実態調査を行い、支援につなげるための相談窓口を設置することを求めます。

答弁: 本市では実態調査をしておらず、県が4月に関係各所にヤングケアラーに対する実態調査を行っており、その結果を待ち検討したい。支援につなげるには、福祉・介護・医療・教育など様々な分野の支援が必要で横断的な検討を5月より始めた。相談窓口は、こども家庭総合支援室で行っている。

※ヤングケアラー：本来大人が担うべき家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども。

中間 報告

不当要求議員が関わる事業の真相を究明する特別委員会

特

別委員会は、これまで9回開催され、「粟生(オウ)の松原公園に関する事」「白浜西山公園に関する事」「白浜系引八木地区対策協議会の実態把握事案」等19事案について調査を行ってきました。

これまでの審査の中で、「基本地形図データ再構築等事案」「賑わい施設選定委員事案」「からくり時計設置事案」等6件については、一定の結論が出されました。

また、「浜手緑地公園整備事案」「白浜小学校相撲場整備事案」「新市場新築工事実施設計委託入札取り止め事案」につい

ては、松岡議員の行為に不当要求行為等の疑義があり、当局において再確認が行われていました。

その後の特別委員会において、3事案とも「姫路市職員の倫理と公正な職務の確保に関する条例」に基づき、不当要求行為に認定されたとの報告がありました。さらに、この3事案については、地方自治法第100条の調査権を持って調査を進めるべきとして、特別委員会にその権限が付与されました。

私たち議員団としまして、真相究明のため全力で取り組んでまいります。



谷川まゆみ議員

安全で迅速なワクチン接種を

谷川議員: 姫路市においても、ようやく65歳以上を対象にしたワクチン接種が集団接種も含め始まっています。市民からは、「コールセンターには繋がらない」、「ネット予約も難しい」、「かかりつけ医もいっぱい」など不安と戸惑いが広がっています。なぜ保健センター等での集団接種を初めから行わなかったのですか。また、コールセンターは当初の20回線から、補正予算によって60回線に増強されましたが、見込みが甘過ぎたではありませんか。また、ネット回線も増強すべきではありませんか。

答弁: 接種開始当初は供給量が限られていたため、集団接種を実施するのは困難だった。予約システムに関する分かりやすいマニュアルを作成し、市のホームページに掲載した。



「アクリエひめじ」のワクチン接種会場を視察する議員団

「生理の貧困」に対する一層の公的支援を

谷川議員: 「生理の貧困」の問題は以前からありましたが、コロナ禍による生活苦で可視化されるようになり、世界各国や各自治体においても支援が始まっています。本市の教育委員会では、保健室で生理用品を利用した場合、利用した分を返さなくてもいいとの通知を出しています。さらに支援

を強めるため児童・生徒がその都度保健室に行かなくてもいいように、生理用品の学校トイレへの配置を求めます。

答弁: トイレに生理用品を配置し、教職員の関与がないまま児童生徒が利用すると、学校側が把握できず、多面的支援が難しい。現行の仕組みを継続し、今後の研究課題としたい。

白浜小学校借地の購入を

谷川議員: 白浜小学校は全体敷地の約8分の1に当たる2,117平方メートルが松原神社からの借地となっており、年間借地料は500万円です。明治5年からの借地ということですが、姫路市はこれまで幾ら借地料を支払ってきたのですか。市の財政負担の軽減からも、地域の未来を担う子どもたちのためにも、借地の購入を真剣に進めるべきです。

答弁: 借地料の累計額は、記録が残っている平成3年度以降、令和3年度までで、1億3,970万6,750円となる。これまでも購入したいと交渉を行ってきたが、今後とも購入交渉を続けていきたい。

常勤特別職を対象にした倫理条例の制定を

谷川議員: 議員の不当要求に対して、担当職員は原則通り対応しようとしているにもかかわらず、副市長のところで不当要求が通ってしまっています。議員等からの要望記録も残していませんでした。市長、副市長等常勤の特別職を対象にした倫理条例を制定すべきと考えます。

答弁: 市長及び副市長は、姫路市長等政治倫理条例の適用を受けることから職員倫理条例の対象にしておらず、要望等の記録の対象になっていない。職員条例の運用の見直しを検討するに当たり、特別職の職員に対する要望の取扱いについても検討していく。



請願結果について

- ①「少人数学級」の早期実現を政府に求める意見書の提出について
- ②教員免許更新制の廃止を含めた見直しを求めることについて
- ③全国学力・学習状況調査の悉皆実施中止を求めることについて

以上3本の請願について本会議で議員団を代表して苦闘一成議員が賛成討論を行いました。結果は3本とも共産党議員団以外に1議員の賛成を得ましたが賛成少数で不採択となりました。

①の少人数学級の請願は、小中学校に30人以下学級の実施を求めるもので、母親連絡会によって提出されました。また、同

時に全会派議員の紹介で、教職員組合から提出された同主旨の請願は、全会一致で採択されています。②は文科省も抜本の見直しを検討している弊害だらけの制度です。③は小学校6年生、中学校3年生全員の悉皆学力調査です。調査目的なら数%の抽出で十分な成果を得られるとされています。

このほか、日本政府に核兵器禁止条約に調印・批准を求める意見書の提出についての請願は総務委員会で審議未了となりました。委員会で審議未了となれば本会議での表決は行われず、議会として不誠実な扱いです。また、コロナ禍のもと、児童・生徒の健康と学習権が守られるために、生理用品の配布を求めることについては、緊急かつ切実な課題であるにもかかわらず継続審査となりました。